

# 特別支援学級9組(知的障害学級) 音楽科学習指導案

日時 平成27年1月13日(水) 第6校時

場所 第2音楽室

授業者

## 1 単元名 みんなで和太鼓「チャラボコ」を発表しよう

## 2 単元目標と単元観

### (1) 単元目標

- 生徒A：・長期的な計画を立て、集中して物事に取り組むことができる。(関心・意欲)  
・太鼓のばちのもち方に気を付けながら練習に取り組むことができる。(表現の技能)  
・合奏の音を合わせようとし、友達と協力することができる。(創意工夫)  
・友達の演奏を聴き、感想を◎○△を使って発表することができる。(鑑賞の能力)
- 生徒B：・苦手意識を克服するまであきらめずに粘り強く練習に取り組むことができる(関心・意欲)  
・太鼓の正しいリズムを確認しながら、演奏に取り組むことができる。(表現の技術)  
・相手の速さに合わせて演奏することができる。(創意工夫)  
・友達の演奏を聴き、感想を発表することができる。(鑑賞の能力)
- 生徒C：・合奏の音を合わせようとし、友達と協力することができる。(関心・意欲)  
・正しいリズムで演奏することができる。(表現の技能)  
・相手の速さに合わせて演奏することができる。(創意工夫)  
・友達の演奏を聴き、感想を発表することができる。(鑑賞の能力)
- 生徒D：・活動内容を聞き、自ら進んで練習に取り組むことができる。(関心・意欲)  
・太鼓の正しいリズムを確認しながら、演奏に取り組むことができる。(表現の技能)  
・相手の速さに合わせて演奏することができる。(創意工夫)  
・他の友達の演奏を聴き、感想を発表することができる。(鑑賞の能力)
- 生徒E：・活動内容を聞き、自ら進んで練習に取り組むことができる。(関心・意欲)  
・太鼓の正しいリズムを確認しながら、演奏に取り組むことができる。(表現の技能)  
・相手の速さに合わせて演奏することができる。(創意工夫)  
・他の友達の演奏を聴き、感想を発表することができる。(鑑賞の能力)

### (2) 単元観

本校の特別支援学級は、知的障害学級(9組)と自閉症・情緒障害学級(10組)で編成されている。知的障害学級には6名の生徒が在籍し、自閉症・情緒障害学級には4名が在籍している。

今まで、特別支援学級の音楽の授業では、合唱やハンドベル等の全員で演奏に取り組めるものを中心に組みこんできた。しかし、教師の与える課題に対して素直である一方、受け身的であり個々の技能の習得に留まってしまったり、友達と関わることなく自分の活動に精一杯であったりすることが気がかった。そこで、生徒らが互いに助け合い認め合う経験(社会に出て他者と関わっていくときに必要不可欠な課題)をさせたいと考えた。

本校の生徒は、特に行事や作業品販売などのイベントへの意識が高く、人前に立つことに前向きな生徒が多い。そういった姿から、生徒に発表の機会を与えることでモチベーションを上げさせ協同することへの意欲を高めたと思った。本単元は、2月に行われる刈谷市内の特別支援学級合同の学習発表会での演奏を目標とし、地域の伝統芸能「チャラボコ」の演奏の発表に向けて全員で練習に取り組むことを中心に行った。

## 3 単元計画(24時間完了)

### (1) 学習計画

	時	学習内容
一学期	1	(導入) チャラボコについて知ろう
		・チャラボコの伝承者の方の演奏動画を鑑賞する。動画から、どんな楽器なのか、どのような音・リズムなのかを感じ取らせる。

	2 3	<b>(1) リズムを歌おう</b> ・チャラボコのリズムを歌い、太鼓のリズムに親しませる。 ・リズムを難易度順に段階化し、クリアしたら次へ進めるゲーム方式にし、生徒に関心をもたせる。
	4 5	<b>(2) リズムをたたこう</b> ・リズムを歌いながらパチを動かす。パチの左右の動きは色分けして捉えさせる。
	6 7	<b>(3) 友達とリズムを合わせよう</b> ・グループを作り、同じリズムを練習させる。 ・個々の課題や練習の仕方を指導し、生徒主体で練習に取り組ませる。
一学期	8～ 11	<b>(4) 2種類の太鼓で合奏しよう</b> ・2種類の太鼓を使ったペア練習で、相手の音やリズムを意識して練習に取り組ませる。 ・それぞれの太鼓でチーム分けを行い、各太鼓のたたき方を指導する。
	12～ 17	<b>(5) 演奏を互いに評価しよう</b> ・グループを変えて練習をさせ、どの生徒とも練習に取り組めるようにする。 ・ペアやグループでの発表を行い、聴き手から評価を得られるようにする。
	18	<b>(6) 息の合った演奏をしよう</b> ・伝承者の映像から演奏のコツを発見させ、技能を高める。 ・一人一台の太鼓を使った練習を行い、発表への意識を高めさせる。
三学期	19～ 23	<b>(7) 学習発表会に向けて度胸だめしをしよう</b> ・発表に向けてより良い演奏を目指し練習に取り組む。 ・演奏を録画し、全員で鑑賞し良かったところや改善点を見つける。 ・先生や友達に演奏を披露し評価を得ることで、発表への自信をもたせる。
	24	<b>(8) 学習発表会で演奏を披露しよう</b> ・刈谷市の特推協行事の学習発表会で演奏を発表し、他校の生徒や保護者から評価をもらうことで、達成感をもたせる。

## (2) 教材について

チャラボコは祭り囃子の太鼓で、三河地方を中心に刈谷市南部や碧南市、豊明市等で伝承されている。碧南市チャラボコ保存会と豊明市吉池囃子保存会の伝承者の方に楽器の使い方や曲作りに関するご協力をいただいた。チャラボコを教材とした理由は、次の3点である。

- ① オリジナル教材で「自分たちにしかできないことである」と生徒に特別感を持たせ、練習や発表を通して自信をもたせるため。
- ② 二種類の太鼓のみで合奏ができ、地元では小学生を中心に伝承されていることから、特別支援学級の生徒も取り組みやすいと考えたため。
- ③ リズムがシンプルで、難しいリズムを完成させることよりも全員で音を合わせることで迫力のある演奏を作ることができるため。

## 4 本時の指導 (20/24)

### (1) 本時の目標

ビデオを鑑賞し気付いたことを発表することができる。本番の発表に向けより息の合った演奏になるように練習に取り組み、人前での演奏にも挑戦することができる。

### (2) 授業構想

本時は、2月の学習発表会に向けての度胸試しとして本番に近い形での練習を行っていく。前時の伝承者の演奏や自分たちの演奏の動画をもう一度ビデオで鑑賞し、全員で音を合わせるためにどのような工夫ができるか考え意見を伝え合う。授業の終わりに授業を参観してくださったボランティアの先生に評価をいただき、本番への気持ちを高めさせる。

### (3) 指導過程

時間	学 習 活 動	教師の支援と手だて
0 3	1. 前時の内容を評価シートで振り返る。 2. 今日の学習課題を確認する。	

<b>本番に向けて、より息の合った演奏をしよう</b>				
5	3. 自分達が前時で行った演奏と伝承者の人の演奏の動画をテレビで鑑賞し、聞き比べることで違いに気づかせる。気づきを発表させる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の個々の演奏を大きく写した動画と、全体の広く写した動画をテレビに流す。</li> <li>・生徒の様子を見て、繰り返しビデオを流す。</li> </ul>	
生徒 A	生徒 B	生徒 C	生徒 D	生徒 D
○2つ以上の発見をする。ほかの生徒が気付かなかったことを発表する。 [支援] ①生徒に、日々の中でも様々なことに気が付いている実態をほめ、ビデオの中の発見探しに意欲をもたせる。 ②必要であればメモを取らせる。	○気付いたことをひとつ発表をする。  [支援] ①気付いたことをキーワードや短い言葉で発言させる。 ②教師がその気づきをチェックし、発表を促す。	○気付いたことをひとつ発表する。  [支援] ①ビデオで注目すると良い点をアドバースし、見方の助言をする。 ②気づきが難しい時は、ビデオを繰り返し見させる。	○気づいたことをひとつ発表する。  [支援] ①伝承者の演奏のすごいと感じたことを発表させる。 ②息の合う演奏をするために、伝承者が視線を合わせて演奏している写真を見せる。	○気づいたことをひとつ発表する。  [支援] ①伝承者の演奏のすごいと感じたことを発表させる。 ②どうしたらぴったりと合う演奏ができるのか、3択のクイズ形式のシートを使って選ばれる。
○気づきを発表する				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番は、C⇒D⇒E⇒B⇒Aの順で行う。使用したシートやメモを基に発表させる。</li> <li>・教師は生徒の気づきをカードに書き、黒板へ貼っていく。</li> </ul>				
20	4. 「目を合わせてから演奏する」「そーれ！とかけ声をかけて演奏する」といった気づきを実践し、全員で息の合った演奏を目指して練習する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに視線を合わせられるよう、リーダーを決めて練習していく。「○○君の方を見よう」と教師が声をかけ、誰を中心にして練習するか意識させる。</li> </ul>	
40	5. ボランティアの先生へ演奏を披露する(動画を撮影する)。感想を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの先生に、それぞれの生徒のがんばった所を褒めてもらう。</li> </ul>	
45	6. 前時の動画と今日の動画を見比べ、工夫してみんなで練習したことで演奏がうまくなったことを感じ取らせる。			

### (5)評価

- ・ビデオを鑑賞し、それぞれの方法で意見を発表することができたか。
- ・仲間の気づき・意見をもとに、練習に進んで参加できたか。